



# 市議会だより



## 3月定例会 市長の施政方針に議会が問う！

- 3月定例会が、2月26日から3月25日までの28日間の会期で開催されました。初日には、市長が市政運営のスローガンに「融和」と「協働」、そして「飛躍」を掲げ、施政方針演説を行いました。また、平成26年度予算、条例改正など、議案35件を審議しました。
- 2月27日には各会派を代表して3人の議員が、施政方針に対して質問しました。
  - 2月28日、3月3日、5日に13人の議員が市政について質問しました。
  - 3月7日には新年度予算について質疑が行われました。

### 会派代表質問

新生西尾クラブ  
山田 慶勝 議員

### 行財政改革について

**問** 普通交付税の交付額はどうですか。  
**答** 平成26年度当初予算は28億円とされています。普通交付税の決算ベースでは、23年度が約33億円、24年度が約36億円、25年度決算見込み額で約32億円です。

**問** 財政力指数の推移と近隣市との比較をどのように分析していますか。  
**答** 平成23年度が0・95、24年度が0・95、25年度が0・96です。西三河9市の中で3年間とも一番低い状況です。25年度の刈谷市は1・24、安城市は1・18です。

**問** 合併算定替による普通交付税の満額交付が終了する平成29年度以降は、普通交付税が段階的に減額されるが、予算措置をどのようにしますか。  
**答** 合併算定替終了後の平成34年度の普通交付税額を約8億円と見込んでおり、約20億円の減額となりますが、人件費の削減額として約15億円、ごみ処理施設整備に係る公債費の削減額として約12億円を見込んでいます。

**問** 合併により約650人の職員がふえたが、削減状況はどのようですか。  
**答** 平成26年度までに、職員を80人削減する目標を掲げましたが、100人の減となります。

**問** 合併前の平成22年度と比較し、合併後の人件費の推移はどのようですか。  
**答** 合併前の旧西尾市の人件費は約47億6千万円で、合併後の23年度は約90億3千万円、24年度は約86億8千万円です。

**問** 行政組織機構改革はどのように改編し、どう合理化に努めましたか。  
**答** 危機管理局と産業部を創設することで2部の増となりましたが、支所の2課の統合などで4課の減。組織機構の改革で職員数の増加につながることは決してありません。

安心できる暮らしを支える健康・福祉のまちづくりについて

**問** 市民病院改革について、医学生に対する奨学金制度の反響はありますか。

**答** 新聞記事を見たとの問い合わせや大学医学生からの照会が数件ありました。3名を募集したいと考えています。

**問** 地域連携ネットワークシステムとはどのようなものですか。

**答** コンピュータのネットワークを介して、紹介患者さんの市民病院での診療情報を紹介元の地元医療機関と共有するものです。それぞれの医療機関の機能に応じた治療を効果的、かつ効率的に提供でき、医療安全の点からも効果があるものと考えております。

**問** 高額医療機器の更新や病棟の改修はどのように進めますか。

**答** 病棟改修は、今後3年間で5階、6階、3階病棟の順に改修し、アメニティーの向上及び長寿化を図ります。

**問** 学校生活介助員派遣事業について、具体的にどのような事業ですか。

**答** 市内の小・中学校に在籍する重度の身体障害児に対し、ヘルパーを派遣することにより食事や排せつなど、日常生活の身辺自立を支援する事業です。

**問** 新年度は何人を対象にしますか。

**答** 鶴城小学校3名、荻原小学校2名、矢田小学校1名、寺津小学校1名、一色東部小学校1名、一色西部小学校1名で、合計6小学校で9名の予定です。

安全かつおおいのある環境づくりについて

**問** 一色地区産業廃棄物最終処分場跡地問題協議会は、昨年11月の発足以来、どのような活動をしてきましたか。

**答** 現状問題の把握や、今後、予想されます各種問題点、各課間の連携体制などを確認するとともに、跡地問題解決に向けての方策、産廃業者が提案している計画の検証、確認などの協議を行っています。今後は、産廃業者が実施している用地購入などの開発行為に伴う事務や影響を確認するなど、臨機応変の対応をしていきます。

**問** 一色地区産業廃棄物最終処分場跡地問題について、愛知県とは緊密に連携できていますか。

**答** 西尾市が危惧する問題意識との間にずれが生じており、現段階では県との緊密な連携ができていない状況です。

**問** 親子で楽しめる公園について、整備の進捗状況はどうですか。

**答** 用地は、約95%に当たる約4・1畝の取得が完了し、道路も、橋梁下部工3基のうち2基の工事が完了予定です。

す。今後は残りの橋梁関係工事、本格的な公園の基盤整備に着手し、28年度の完成を目指します。

**問** 矢作古川分派施設の整備状況と、矢作川左岸堤防道路の整備は怎么样了。

**答** 全体の工事完了は平成27年度末で、矢作川左岸堤防は、現在、用地測量などを行い、志貴野橋より西浅井町までの堤防整備計画をしています。堤防整備の完了後には道路として使用できるよう国土交通省と協議を行います。



洪水時に矢作古川への流量を調整する矢作古川分派施設の予定地

地域を支える文化と人を育む環境づくりについて

**問** 子ども子育て支援について、保育園・幼稚園給食費無料化について、対象園児数と経費はどれくらいですか。

**答** 対象園児数は、約4千800人です。経費は、歳入、歳出あわせて約5千900万円を見込んでいます。

「総合運動場」構想について

**問** 「総合運動場」の建設を検討する組織とはどのようなものですか。

**答** 総合運動場に整備する施設、規模、設備や建設する場所、既存施設のうち残す施設、廃止する施設などを検討していきます。

**問** 基金条例を制定する前に具体的な計画を市民に示しませんか。

**答** 今後、検討委員会等を設置して素案づくりに着手し、市民に公表します。

**問** 大災害が心配される中で、使途が固定される基金に貴重な税金を覆かせておくほどの緊急性はありますか。

**答** 使途が固定されていない財政調整基金ではなく、総合運動場整備基金に積み立てていくことが適当です。

**問** 子どもたちが使用する学校施設でさえ、改修による長寿命化で対応しているのですから、現有スポーツ施設も改修して公式競技が可能なグラウンドに変えることを考えませんか。

**答** 現有スポーツ施設を公式競技ができるよう改修し、総合運動場には整備しない施設とすることは考えられません。



**問** 市民要望が強いのは「身近で利用できる施設の増加」であって、「公式競技場」ではないが、どうお考えですか。

**答** 公式競技のできる施設は必要です。

市政クラブ

神谷 庄一 議員

企業誘致にかかる緑地について

**問** 工場立地法が改正され、緑地率が市独自で決定できるようになりましたが、碧南市のように環境施設面積率を25パーセント以上から10パーセント以上、緑地面積率20パーセント以上から5パーセント以上に変更しませんか。

**答** 衣浦14号地では、環境施設面積率を5パーセント以上に、また緑地面積



率を5パーセント以上に緩和しています。その他5か所の工業専用地域では、環境施設面積率を15パーセント以上に、緑地面積率を10パーセント以上へと緩和しています。

建設業について

**問** 市内の建設業を保護育成していかないと、建設業が減少して災害時の緊急復旧時に事業者がなく、財産・人命を守る手段を失ってしまいます。東日本大震災復旧、消費税率のアップ、リニア中央新幹線やオリンピック関連の大型建設事業などの影響で、資材や人件費の高騰に起因する建設単価の上昇により、市内公共工事が入札不調となっていますか。

**答** 資材や人件費の高騰による市内の公共工事の入札不調案件はありません。

名鉄西尾蒲郡線について

**問** 名鉄西尾蒲郡線の利用増進を図り、近隣住民の交通渋滞被害の緩和策として、官民連携を模索して、西尾駅とヴェルサウォーク間の約100メートルに屋根付き陸橋の建設を計画しませんか。

**答** 今後名鉄を利用しての集客も期待されるが、多くの事業費が必要なので、一企業の進出だけで計画するのではなく、今後、駅周辺の土地利用状況を見なが

ら必要が生じた時に検討します。

子育て支援のための児童クラブ充実について

**問** 子ども子育て支援に関する新制度に基づき、児童クラブの対象児童を小学1年生から6年生まで拡大しませんか。

**答** 現段階で市のはっきりした方向性は決まっていませんが、子ども・子育てに関するニーズ調査の結果を踏まえ、近隣の他市町の状況も見ながら検討していきます。

子育て支援のための保育園・幼稚園について

**問** 子育て支援のため、兄弟姉妹が通学する小学校区の保育園・幼稚園に入園できるようにしませんか。

**答** できる限り希望に沿えるよう、今後とも入園調整をしていきます。入園した後も、進級時の転園希望をとっており、保護者の希望される園に優先的に転園できるように配慮しています。

総合運動場について

**問** 実現までには時間が必要で、今後、超党派の勉強会・建設特別委員会立ち

上げを視野に入れ、2020年の東京オリンピックまでに粗造成が完了するような実施計画を考えていきますか。

**答** できる限り早期実現に向けて取り組んで行くよう努めていきます。

養護学校について

**問** 平成23年6月定例会で、早期建設を求める請願書を全会一致で採択し、父兄にとっては一日千秋の思いで果報を待っていました。約3年経っても具体的説明がありません。岡崎養護学校では通学に時間が必要で、以前から市内に養護学校の設立を求める声があります。現在までの経過はどのようなか。

**答** 西三河南部への養護学校設立の可能性について引き続き協議しています。今後も国や県の動向を見極め、連携を図りながら養護学校設立を視野に入れた特別支援教育のあり方について検討していきます。

防災対策について

**問** 名鉄西尾蒲郡線を大変な努力によって乗降客を増加させてきましたが、昭和3年に供用開始された名鉄西尾線の米津鉄橋は、地震に対して基礎杭に不安がありますがどのように認識していますか。

【答】 名鉄西尾線の米津鉄橋には8か所の橋脚があり、全ての基礎において周囲に鋼製の矢板が打ち込まれ、コンクリート補強工事がされており、安全性は確保されています。

市民と共に考える職員の  
ノウハウについて

【問】 安城市に比べ、当市は市民サービスの政策発想が、遅れていると思います。どのように考えますか。

【答】 安城市は、4月に「安城市みらい創造研究所」という自治体シンクタンクを設置して、市における課題を集中して調査、研究を行う先進的な取り組みを始めると聞いています。今後の活動状況を注視し、参考とします。

6月定例市議会  
開催予定のお知らせ

|    |        |                 |
|----|--------|-----------------|
| 6月 | 2日(月)  | 本 会 議           |
|    | 5日(木)  | 本 会 議           |
|    | 6日(金)  | 本 会 議           |
|    | 9日(月)  | 本 会 議           |
|    | 11日(水) | 文 教 委 員 会 議     |
|    | 16日(月) | 厚 生 委 員 会 議     |
|    | 17日(火) | 経 済 建 設 委 員 会 議 |
|    | 18日(水) | 企 画 総 務 委 員 会 議 |
|    | 26日(木) | 本 会 議           |

開会時間は午前10時です。  
\*本会議は議場  
\*委員会第1委員会室

西政クラブ  
稲垣 一夫 議員

平成26年度市政運営について

【問】 市長選で掲げたマニフェストについて、平成26年度事業への反映状況はどのようですか。

【答】 第7次西尾市総合計画を政策の基本として掲げ、任期中の4年間で実現したい事業を公約としてまとめました。その中で、農業副都心構想の具体化、企業誘致の推進、民間主導による観光振興や保育園・幼稚園の給食費無料化事業、市民病院における医師確保のための奨学金貸与制度の創設、新たなまちづくりの出発点と位置づけた公共施設再配置推進事業など、平成26年度から事業化することができました。

活力と魅力あふれる産業づくり

【問】 「観光元年」として、具体的な取り組みはどのようですか。

【答】 本市の魅力ある豊かな観光資源を活かすとともに、市民がまちに誇りと愛着を持ち、観光客を温かく迎え入れるまちを目指して、基本理念を「おもてなしの心で迎え入れる 多彩な魅力

と活力がつながる観光のまち 西尾」と定め、平成26年度は「抹茶スイーツ甲子園」や「愛知県観光交流サミット」などを開催します。

利便性と快適性を高める  
基盤づくり

【問】 西尾幡豆線の平成26年度計画はどのように認識していますか。

【答】 愛知県にて整備を進めていただいております。現在、鶴ヶ池町から吉良町岡山の未供用区間1・5キロメートルの用地取得を引き続き進めるとともに、鶴ヶ池町側で一部工事に着手する予定です。

【問】 安城一色線の平成26年度の予定地と規模はどのようですか。

【答】 西尾地区の上町、下町地内の約1・2キロメートルの用地取得、物件移転補償を進めていただけます。一色地区においては、諏訪神社の物件移転が進行中で、平成26年度に諏訪神社より南の区間と国道247号と交差点を含めた事業許可を取得し、整備に着手する予定です。

地域を支える文化と人を  
育む環境づくり

【問】 3学期制への移行により、各学校はどのように取り組み特性を發揮しましたか。

【答】 市内各学校では、3学期制への移行が子どもたちの励みとなるよう「適正な評価の工夫」「授業時間数の拡充」「子どもとふれあう時間の保障」の3点を中心に取り組んできました。こうした学校の努力もあり、3学期への移行はスムーズに進んでいると考えています。

【問】 小・中学校体育館の耐震改修やトイレ改修の計画年度はどのようですか。

【答】 耐震改修については、小・中学校のすべての屋内運動場の非構造部材耐震対策工事を計画的に実施します。吊り天井を有する屋内運動場は平成26・27年度2か年で天井材の撤去を含め、必要な改修工事を完了します。トイレ改修は、平成26年度から29年度で、全ての小中学校について、少なくとも1系統以上の整備を完了します。

【問】 市長の目指す新「西尾市」の具体的な将来像はどのようですか。

【答】 目指す新「西尾市」の将来像は、第7次西尾市総合計画に掲げている、「自然と文化と人々がとけあい 心豊かに暮らせるまち 西尾」であり、無二の宝である美しい景観、歴史、文化が感じられ、そこで人々が生き生きと心豊かに暮らしているまちに、そんな魅力ある西尾市を目指していきたいと考えています。

一般質問

渡辺 信行 議員

人口増加策と定住促進について

**問** 西尾の魅力をもPRした定住促進のための情報誌を発行しませんか。

**答** 人口の増減は、まちの活性化や経済に及ぼす影響が多岐であるため情報誌の発行については今後検討します。

**問** 工場建設や住宅建設等に係る各種規制緩和はどのように考えていますか。

**答** 雇用の創出や経済の活性化のため工場建設については可能な限り規制緩和に努めます。住宅建設については住み良い住環境を整備して定住促進に努めます。



防災・減災対策について

**問** 防災対策の考えはどのようなのですか。  
**答** 南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、市の最重要課題と捉え予算を増額して各種対策に取り組みます。

**問** 市民の防災意識の高揚策と防災訓練のあり方、小中学生の防災教育をどのように考えていますか。

**答** 生命と財産を守るのは自身であるという意識の高揚を推進するとともに自主防災会などへの呼びかけや活かされる防災訓練・体験的な活動などの防災教育を実施します。

**問** 地震の揺れに対する市民の対策をどのように考えていますか。

**答** 揺れの対策も大きな課題であります。市民が耐震工事や家具の転倒防止など自ら生き延びる知恵と対策を行なっていたりよう推進します。

総合運動場の建設計画について

**問** 現段階での建設予定時期、施設の内容、事業費はどのようなのですか。

**答** 十数年後に着手し、野球場、陸上競技場、テニス場、ソフトボール場、多目的グラウンドなどの施設で約80億円と見込んでいます。

**問** 今後の進め方はどのように考えていますか。

**答** 検討する組織を設置して、基本構想を策定し、総合計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画への位置づけなどの手続きを進め、市民の意見をお聞きして基本計画を策定していきたいと考えています。

**問** 財政負担を考えた市民ニーズをどのように捉えていますか。

**答** 施設、規模、整備期間や費用などを示した上で市民ニーズを把握していくことも必要であると考えています。

**問** 有効活用するためにスポーツの普及振興策をどのように考えていますか。

**答** 行政とスポーツ団体が協働して、子どもから高齢者までがスポーツに参加する機会を充実させるなどスポーツ活動を推進するとともにトップレベルで活躍できるアスリートの育成など競技スポーツの振興を図っていきます。

長谷川敏廣 議員

看護専門学校における教育について

**問** 「人にやさしい看護活動ができ、進展する医療や社会のニーズに対応できる人材を育成し、地域住民の健康と福

祉に寄与することのできる意識の高い看護実践者の育成をする」とした教育理念を具体的にどのように実践していますか。

**答** 人間と人間生活を基盤にして基礎分野、専門基礎分野、専門分野及び統合分野の教育内容を関連させるように教授しています。

**問** 専門的職業人として倫理的行動を遵守して、生涯にわたり自己研鑽ができる能力はどのようにですか。

**答** 学習態度や研究態度、自己研鑽能力も養い看護師にふさわしい、主体的な内容を教授しています。

**問** 臨地実習指導をする指導者に対して、教育理念や教育方針をどのように浸透させていますか。

**答** 実習開始前に、実習指導者と担当教員が実習手引きに基づいて打合せを行い、実習指導の考え方及び指導方法の統一を図っています。

**問** 入学した学生を全員卒業させるために、今後、教育方針をどのように実践すべきと考えていますか。

**答** 学生の立場に立ち、心が折れそうな状況にある学生には、問題を受け止める、一緒に解決できる方法を考える姿勢で支えていきます。





ふれあいセンターなど活用について

**問** 地域に設置された共同利用施設は、地域住民のコミュニケーションの場であることが基本と考えますが、どのように認識されていますか。

**答** 市民の方々の生涯学習の拠点であるとともに、地域住民の方々の交流の場としての重要な役割を担う施設であると考えます。

**問** 共同利用施設は退職職員の配置場所であって「住民のコミュニケーションの場」であるという基本的な事が置き去りになっていないかという疑問を持ちますが、どのようにお考えですか。

**答** 市の職員として長年にわたり培った経験と知識を活用し、市民サービスの提供を第一に考え、業務に当たるよう努めています。

**問** 会館業務が主体となっており、地域住民とのコミュニケーションがなされていないという事はありませんか。

**答** 地域の方々とコミュニケーションを深めることが大切であると思えます。今後もその点を意識した施設運営に努めていきます。

**問** 市長は地域住民との懇談会で「職員の接遇については十分な研修をさせる」と言われましたが、その実績はどの

ようですか。

**答** 職員には、接遇の重要性を再認識させ、市民サービスの向上を図ることを目的に、年度途中の12月に全嘱託職員を対象に接遇研修を実施しています。

**問** 委託されていた共同利用施設では、直営になることにより人件費がかさむと聞いていますが、経費節減についてどのように考えていますか。

**答** 直営の共同利用施設は必要最小限の人員配置と合わせて、一般職員よりも人件費の安い嘱託職員と臨時職員で施設の管理運営を行っています。

鈴木 規子 議員

南海トラフ巨大地震への  
具体的な備えについて

**問** 危機管理局の新設によって防災・減災対策はどう充実されるのですか。

**答** 専門部局として権限は大きくなり、各部課との連携・協力を強めます。

**問** 阪神大震災では死者の9割、4千831人が家屋や家具転倒による圧迫死です。市政世論調査では家具転倒防止をやっていない世帯が43%もあり、平坂や幡豆地区では50%になることが

判っています。官民挙げて家具転倒防止に取り組みむべきではありませんか。

**答** 新年度には具体的な対策をとっていきます。

**問** 地震時に倒壊して避難路を塞ぎそうな家屋には積極的に耐震対策を働きかけませんか。同様の空き家にも対策を講じませんか。

**答** 耐震対策は、補助金を90万円から120万円に引き上げました。建築士会・自主防災会と一緒に戸別訪問するローラー作戦を進めます。建設部では空き家の把握はしていません。

**問** 高齢者・障害者には無料で家具転倒防止ができるのほとんど進んでいません。ローラー作戦には福祉部とも連携を考えませんか。

**答** 建設部としては、小学校区単位で自主防災会で集中的に実施したいと思っています。

**問** 消防本部では、狭あい道路周辺の空き家について把握していますか。

**答** 消防の観点での空き家の調査は行っています。今年度からは町内会長にご協力もいただき、5年で全市の調査ができます。

**問** 各部で別々に調査・把握している情報はしっかり共有して、空き家対策を行っていきませんか。

**答** 新年度は空き家対策を担当する部

署が創設されますので、そこを中心に、建設部も消防と連携していきます。

**問** 市の情報収集力は脆弱です。静岡市のようにオフロードバイク隊をつくらせて増強しませんか。

**答** 建設部では自転車による情報収集の考えはありますが、積極的に研究検討していきます。

**問** 地震時、倒壊家屋からの住民救出のためにボールやシャベルを収めた「お助け倉庫」防災倉庫の簡易版をつくりませんか。

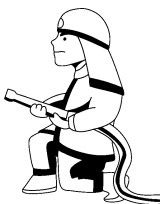
**答** 良い提案なので、新年度の新規補助制度（10万円）の中で紹介します。

**問** 給水車は寄付頼みでなく、市でもう1台増やすべきではありませんか。

**答** 軽自動車に搭載できるポリタンクを自主防災会で運搬していただく連携が考えられればと思っています。

**問** 消防団も、操法訓練よりも実践的な住民の救助・救出訓練を行うべきではありませんか。

**答** 法改正で消防団の災害時の役割が明確化されたので、来年度以降、分署での教育・救助訓練を積極的に指導していきます。



本郷 照代 議員

高齢者福祉について

**問** 高齢者が、可能な限り住み慣れた地域において継続した生活を続けられるように、どのような施策が講じられ、その効果はどのようですか。

**答** 平成24年度に小規模特別養護老人ホームを1か所、小規模多機能型居宅介護事業所を1か所、定期巡回・随時対応型訪問介護事業所を1か所整備しました。これらの整備により「高齢者福祉計画・介護保険計画（第5期）」の目標が達成され、住み慣れた地域で引き続き生活を希望している方に対する需要に対応できたことで、一定の効果があったものと考えます。

**問** 「団塊の世代」が65歳を迎える「2015年問題」に備えて、市としての方策を考えていますか。

**答** シルバー人材センターでは、今年度から男性向け「ころぼん教室」を開催し、男性の参加者を増やすよう努めています。また、市では、地域で活動する仲間づくりや活動を始めるきっかけとなるよう「地域デビュー！西尾のまち再発見講座」を開催しており、多くの60歳以上の参加があります。

**問** 「サービス付き高齢者向け住宅」の本市における設置状況を他市町と比較してどのように認識していますか。

**答** 西尾市内の「サービス付き高齢者向け住宅」の県への登録件数は、平成26年2月時点で22件646戸、刈谷市2件134戸、豊田市3件128戸、安城市3件165戸など近隣他市と比較して、突出して多く設置されている状況にあると認識しています。

ごみ減量施策のその後について

**問** 昨年11月に小型家電の回収が始まり、燃えないごみ用指定袋による搬入にどのような変化が見られますか。

**答** 開始以降今年1月までの3か月の回収量は6・7ト、月平均で2・2ト、3か月の西尾地区における不燃ごみ収集量258・8ト、月平均86・3トに比べ小型家電の回収量は非常に小さく、目立った変化は認められません。

**問** 新年度の「家庭ごみの分け方・出し方ガイドブック」はどのように変わりますか。

**答** 平成26年度末に作成予定で、分別方法に大差のない旧3町のガイドブックだけでも1種類にしたいと考えています。

**問** 昨年8月の「公開事業診断」にお

いて「空き缶等分別収集事業」に関しては、事業については「内容・規模見直し」、奨励金については「抜本的見直し」との診断結果でした。それを受けて、新年度はどのように臨まれますか。

**答** 当面は現在の事業実施方法を継続し、引き続き委託料及び有価物売却方法の見直しを検討していく考えです。今後も市全域で資源分別収集を推進していくには、町内会の協力が不可欠であると判断し、当面は奨励金事業も継続していきます。

永山 英人 議員

環境にやさしい公園づくりに



かいと公園（西幡豆町）

**問** 市が描く都市公園とはどのようなですか。

**答** 市民が日常的に利用できる共有財産で、そこに訪れる人々にとって快適で心地よい空間であると共に、まとまった緑によって都市の景観にも影響を与え、災害時には一時避難所となる機能を持つ場所であると捉えています。

**問** 西尾幡豆地域の温暖な気候に適した柑橘類を植栽し、緑を増やすと共に果物の収穫も楽しめる公園づくりをしませんか。

**答** 収穫が楽しめる公園は地元の協力が必要で維持管理面も含め、相談しながら検討していきます。

西尾市職員手当の不適切な受給問題について

**問** 扶養手当と住居手当・通勤手当について不適切な受給があった理由は何かですか。

**答** 職員本人からの届出に基づき支給事務を行っていますが、その届出が遅れたこと、または、愛知県市町村職員共済組合の扶養のチェックなどで支給要件に該当しない事が後から判明した場合などに、その時点まで遡って返還させたものです。



**問** 調査対象職員の範囲と調査期間はどのように考えられましたか。

**答** 手当を支給している全職員で、期間については職員ごとに異なります。調査は、人事課を始め、市民病院、教育委員会、水道事業の各給与担当で、手当の本年度を含む過去5年間の返還状況を集約したものであります。

**問** 今回の不適切な受給の根本原因はどこにあると考えますか。

**答** 受給手当に対する職員の認識の希薄さが原因であると考えています。

**問** 今回の不適切な受給は「故意ではない」として嚴重注意にとどめた市の見解は、また、今後の対策はどのように考えていますか。

**答** それぞれの経過と原因を調査し、さらに、本人から聞き取り調査を行い故意ではないと判断しました。今後は職員への注意喚起はもちろんの事、人事課を始め各給与担当において、手当の現況確認を厳格に行っていきます。

**西尾市と幡豆郡3町合併の  
検証について**

**問** 合併協定項目の調整協議事項は、完了又は目途がたつたのではないかと考えますが、進捗状況はどうですか。

**答** 協定項目は55項目ですが、合併時点で40項目が完了、合併後に検討調整するとされた事項は15項目でした。そ

の後の進捗状況は、それぞれの所管部局で検討を重ねた結果、全ての項目が完了または調整されています。合併協定項目は、すでに市ホームページで公開していますが、検討事項についても今後取りまとめの上、公開に向けて準備します。

**鈴木 正章 議員**

**農業副都心構想について**

**問** 平成25年度の農業副都心構想の検討の概要と進捗状況はどうですか。

**答** 検討委員会を2回、検討部会を3回開催し、開発エリアと施設概要（案）を承認いただきました。

**問** コンサルタント会社の選択基準と、国・県への協力要請はどうですか。

**答** 選択方法は、経験のある業者に整備計画案のプロポーザルを実施し、知識と指導力のある業者に委託します。国・県にはアドバイザーとしての参画を予定しています。

**問** 事業運営での中心となる運営主体の決定はどのようですか。

**答** 運営主体の決定は大変重要で、合同会社、第三セクター等各種考えられます。早急に検討いたします。

**防災対策について**

**問** 県の地震被害予測調査の公表後、本市の防災対策の計画はどうですか。

**答** 本市の地域防災計画の見直しを行い、ハザードマップの作成・配布、飲料水兼用貯水槽の設計、避難所看板の設置を実施します。

**問** 本市の災害危険度判定調査内容はどうですか。

**答** 地震災害に対して、地域ごとの詳細な被害状況等分析し、今後のハード整備、ソフト対策に役立てます。

**問** 地震津波情報の屋外周知徹底として、屋外子局の増設を計画しませんか。

**答** 屋外は地域住民の呼びかけや率先避難が大切です。増設は考えていません。様々な手段で情報伝達に努めます。

**ごみ処理対応について**

**問** クリーンセンター統合の平成25年度の検討状況はどのようですか。

**答** 西尾市・岡崎市の施設延命化の調整、処理品目、組織体制等協議し、平成26年度のトップ会談で方向性を決定します。

**問** ごみ処理方式が西尾市と岡崎市で

異なりますが、検討状況はどのようですか。

**答** 焼却炉の方式は検討していません。その時点最も優れた機種を選定します。

**労務管理の状況について**

**問** 正規職員、臨時職員の出退勤管理はどのようですか。

**答** 正規職員は所属長が把握、確認し、臨時職員は出勤簿に出勤の都度本人が記入後、所属長が確認し、月毎に集計し、人事課に報告します。

**問** 機械化の考えはありませんか。

**答** メリット・デメリット、費用対効果について調査研究します。

**問** 時間外勤務の認定状況はどのようですか。

**答** 事前に所属長に申し出て、時間外勤務命令書の決裁を受け勤務します。

**問** 当市の勤務評価の仕組みと活用はどのようですか。

**答** 2つの仕組みで年3回実施しています。人材育成や昇給、昇格や定年後の再任用職員判定に活用しています。





工藤 光雄 議員

市民の幸福度について

問 市長は市民の「幸せ感」を満たすための課題をどのように考えますか。

答 満足度と安心感の追求により「幸せ感」が生まれてくると考えています。第7次西尾市総合計画に掲げている35の施策の課題に着実に取り組んでいくことが必要で、このことが市民の「幸せ感」を満たすための環境づくりにつながると思っています。

問 ブータン王国の「国民総幸福量(GNH)」を西尾市の状況に合わせて「市民総幸福量(GNH)」に置き換えた指標を新たに設定しませんか。

答 先進自治体の事例を研究し、導入に関して検討します。

問 全国の住みよさランキングの2013年版では、西尾市が123位でした。この評価をどのように分析していますか。

答 全国790市中のランキングであり、決して悲観する順位ではないと思っています。

子育て支援について

問 保育所整備事業において、平成26年度目標に掲げている西野町保育園、福地南部保育園、平坂保育園の建て替え計画の進捗はどのようですか。

答 長寿命化の可能性を判断する構造物の劣化調査をし、その結果を踏まえて建て替え計画を検討します。

問 専業主婦が保育に欠けないのに、知人の自営業の方をお願いするなどして、虚偽の勤務証明を書いて保育園に入園している人もいるようだとのことだが、どのように考えますか。

答 入園時の就労先の証明審査、入園後の就労状況の調査を行っており、虚偽の申請はないものと考えています。

問 延長保育の充実や待機児童のゼロ継続等についてどのように認識していますか。

答 西尾市は待機児童ゼロを維持しています。今後は、保育士の確保が難しくなり、施設整備も必要となることが予想されます。

安全・安心なまちづくりについて

問 市民の「安全・安心なまち」を望

む声に対する認識はどのようですか。

答 「自分たちの安全は自ら守る」という基本的な考え方を、多くの市民に認識していただくことや、地域住民が一人丸となって、行政、警察と連携を密にした防犯活動に積極的に取り組んでいくことが最も重要です。

問 某企業の協力により試験的に設置した自動追尾機能を搭載した防犯カメラの設置効果はどのようですか。

答 カメラ設置により抑止効果が発揮され、悪質事案が多発する春から夏以降の抑止効果に期待しています。

問 防犯カメラ等の設置費用に対する補助制度の考え方はどのようですか。

答 防犯カメラの効果や他市の状況を見ながら検討します。

大塚久美子 議員

「ヘルプカード」の普及促進について

問 緊急時や、災害時など困った時や手助けが必要な時に提示して周囲の配慮や支援を求めやすくする「ヘルプカード」を作成し、配布しませんか。

答 「ヘルプカード」は有益なものとして認識していますが、「事業所利用サポート

ブック」を平成26年4月から運用を始めるため、それを活用していきます。

問 「緊急医療情報手帳」は本当に必要とされる障害者の方、在宅介護の方など対象を拡大できませんか。

答 今後、サポートブックの活用と合わせて、検討していきます。

障害者優先調達推進法の取り組みについて

問 市が実施する各種イベント等で、障害者就労施設等の販売スペースを確保するような配慮をしませんか。

答 各課が関係するイベントへの障害者就労施設の参加について、積極的に取り組んでもらうよう呼びかけていきます。

問 障害者就労施設等の受注機会の増大を図るため、関係機関との調整に積極的に取り組みませんか。

答 市内障害者就労施設職員を中心に、行政では財政課、契約検査課の職員も加え、ワーキングチームを作り検討し、受注機会の増大に取り組んでいきます。

予防医療の積極的な推進について

問 平成21年から本年度までの5年間、がん検診無料クーポン券の配布が行わ

れましたが、未受診者への勧奨は行いましたか。

【答】未受診者への勧奨は行っていません。

【問】受診対象者に電話等で個別に受診勧奨をし、未受診者には再度受診勧奨をする「コール・リコール制度」と無料クーポンと合わせて実施することで、がん検診受診率向上のための取り組みを積極的に進めませんか。

【答】国における「平成25年度働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」の実施に伴い、本市においても未受診者に「コール・リコール制度」による受診案内と無料クーポン券の個別通知の実施に向けて検討します。

【問】本年10月から、高齢者を対象とした成人用肺炎球菌ワクチンの定期予防

議会テレビ中継のお知らせ(予定)

放送日

6月6日(金) (6月5日) 一般質問

6月10日(火) (6月6日) 一般質問

6月12日(木) (6月9日) 一般質問

ケーブルテレビ「キャッチ」

デジタル 106CHで放映

【放送開始時間】

いずれも18時からです。

インターネットで議会を見てみよう

西尾市議会ホームページから

アクセスできます。

ぜひご覧ください。

接種が始まりますが、市民の自己負担額をどのように考えていますか。定期接種の対象とならない希望者のために、現在の助成制度を継続しませんか。

【答】予防接種法の分類で同様な予防接種に高齢者インフルエンザを実施しており、自己負担金を負担していることから、額について、今後検討していきます。また、現時点では、現在の助成制度を、引き続き実施していきます。

颯田 栄作 議員

少子化対策について

【問】合併後3年間の人口の推移と、増減の要因はどのようですか。

【答】4月1日の住民基本台帳登録で平成23年度は16万9千163人、24年度16万9千573人で対前年度比0.2%増、25年度16万9千769人で対前年度比0.1%増。人口の自然減があったものの、転入が転出を上回り、人口が増加しました。

【問】平成25年度全国出生数は過去最少で、本市における出生数と男女別はどのようですか。

【答】平成23年は1千534人に対し、24年は1千530人で対前年比0.3%の減、25年は1千509人で1.4%の減。本市は、全国の傾向と同様に

緩やかな減少傾向が見られます。

【問】本市における合計特殊出生率の直近5年間はどのように推移していますか。

【答】平成20年1.41、21年1.50、22年1.55、23年1.51、24年1.54と大きな変化はありません。

【問】少子化の原因分析がされ、未婚化、晩婚化、晩産化の進展で、夫婦の間でも数の減少があげられているが、本市ではどのように捉えていますか。

【答】初産の平均年齢は28.7歳で、全国の30.1歳よりも若いことから、晩産化の傾向はみられません。夫婦の子ども数は1.54で国の1.41よりも高い状況であります。

【問】市民病院での、安全、安心、快適な出産が出来る医療体制を今後どのように整えますか。

【答】現在常勤の産婦人科医師が1名、助産師が5名。分娩の中止は皆様に大変ご迷惑をおかけしています。分娩を再開するには産婦人科医師の確保が不可欠で、安全な分娩に向けて、緊急時の対応を考慮すると3名の常勤医師がどうしても必要です。引き続き県や大学当局に交渉していきます。

【問】社会の宝である子どもを持つ家庭に対して経済支援を実施しませんか。

【答】子ども医療費の無料化を中学3年生まで拡大しており、26年度から、保

育園、幼稚園の給食費無料化の実施を予定しております。手当関係では、交通遺児に対しての就学援助費の支給などを実施しています。

【問】合併協議で廃止になった、出産祝金の支給を再度検討しませんか。

【答】妊産婦世帯の経済的負担を軽減し、安心して出産できる環境を整えるため、市独自の出産支援金制度を導入。46万円から健康保険より支給される出産育児一時金を差引いた額を交付。第3子以降は児童手当の増額や保育園の保育料無料化、幼稚園の保育料補助などしている。継続的・効果的に展開するため、出産祝金制度の導入は考えていません。

【問】子育てしやすい西尾市の実現に向けた環境整備を図りませんか。

【答】総合計画や次世代育成支援行動計画に基づき、様々な支援策に取り組んでいます。保育園、幼稚園において、室場なかよし園の整備を始め、園庭芝生化事業、空調設備設置事業等の保育環境の充実、延長保育、乳児保育、一時保育など多様な保育サービスの拡大や西小、荻原、横須賀の児童クラブ室の設置また、子育て支援センター及び療育センターの充実に努めています。

【問】公務員の育児休業取得率は高いと言われるが、民間企業を含め市内全体の取得率を把握していますか。

答 全体の取得率はわかりませんが、一部の企業では、男性に働きかけている所もあり、全国の育児休業取得率は、女性83・6%、男性1・89%です。

山田 高生 議員

市内における社会資本の長期管理計画について

問 西尾市が所有する膨大な量の公共施設を更新する場合、どの程度費用がかかるか把握していますか。

答 一部の社会資本は長期計画で更新費用を算定していますが、社会資本全体の更新費用は把握していません。

問 高度経済成長期にその多くが建設され、更新時期が近付いている公共施設を維持するための財政負担の軽減、平準化に国も公共施設等総合管理計画を策定しています。国の財政支援も得られるこの仕組みを利用して長期計画を策定し、コストを平準化しませんか。

答 国の示す公共施設等総合管理計画の指針が正式に示された後に、よく分析して取り組みます。

問 田んぼの中の水路についてもその他の市所有の水路と同様に長期計画に入れて管理しませんか。

答 調整区域内の排水路は、所有する団体で管理していただきます。また自分たちの環境は自分たちで守る互助、共助から、泥上げや草刈りの管理を町内会で行っていただいています。

西尾市の将来を決める効果的な予算の編成について

問 安易な前年踏襲の予算とならないように工夫していますか。

答 予算編成方針編、編成のプロセスを見直すことで、新たな事業への転換を促進し要求する側の職員の意識改革にも努めています。

問 使った予算の事業成果は誰がどのように評価していますか。

答 所定の書式はありませんが各部課が検証していると考えています。今後は予算編成時に問題点、課題等及び事業効果について報告させるようにし、内容が公開できる仕組みとなるように、行政評価制度と合わせて検討していきます。

市民のニーズに応えるクリーンセンターの運営について

問 クリーンセンターの受け入れ時間を、仕事が終わってから持ち込む人のために、18時まで延長しませんか。

答 職員配置の工夫により、受け入れ時間を延長することは困難です。費用対効果を考えると現状が適切です。

問 クリーンセンターの受け入れ単位を100キロワット単位から、10キロワット単位にして、量に応じた適正な料金にしませんか。

答 現状は規定に基づき適正に徴収しています。平成27年10月の消費税の引き上げにあわせて検討します。

前田 修 議員

産業廃棄物最終処分場について

問 愛知県が許可した業者の不始末により、水処理がされずに放置された産廃跡地（一色地区）の解決のため、県にどのように要求してきましたか。

答 止水矢板の設置や第3セクターによる産廃処分場建設の検討などを要求してきました。いずれも前向きな回答はありませんでした。

問 担当者まかせにせず、市長が直接判で直接、知事に要求しないのですか。

答 直談判も一つの方法と思うが、仕事を確実に進めていくには担当部署が協力して進めることが大事だと思います。

問 多くの市民や西三河漁協や町内会や各種団体の方から民間による新たな大型産廃処分場に反対する声は大きい。市は、どのように受けとめていますか。

答 一色地区の町内会長会議などで説明し意見を伺いました。地域の方々が強い不安を抱えていることを感じています。市として住民の思いは当然尊重していきますが、あくまで、新産廃処分場建設は、跡地問題解決の一つの手法であり賛否は申し上げられません。

問 市民の建設反対の声を受け、市長がハッキリ反対だと明言し、その上で別の方法による跡地問題解決に全力を尽くしてほしいが、いかがですか。

答 市民の気持ちは十二分に分かっています。跡地問題協議会でも検討を重ねていますが、最良の方法を見つけ出し取り組んでいきたいと考えています。

津波・防災対策について

問 県は地震・津波の被害想定を6月に発表するとしていますが、西尾市独自の想定と対策が必要だと思いませんか。

答 液状化や堤防の崩壊や沈下も想定した市独自の対策を考えることは重要だと思います。

問 想定と対策を講じるにあたり、沿岸部地域の意見を聞き確定すべきと思



【答】 いましがいかですか。  
沿岸部津波対策協議会で意見を聞き、対策を講じていきたいと考えています。

公共施設の統廃合について

【問】 一色支所や老人福祉センターの解体と機能移転が発表され、不満の声であふれています。3月末には計画を決定し、その後に地域で説明会を行うとされていますが、関係市民の意見を聞いてから計画を決めるべきではありませんか。

【答】 ワーキンググループやEモニター、またホームページでも公開しています。新年度から説明会を開催し意見を伺うことを予定しています。

【問】 旧3町の学校給食センターを統廃合で大規模化したり、PFI方式で建設から運営まで民間に丸投げしたりすることも検討するとしています。安上がりばかりを追及すべきではないと思いますか。

【答】 PFI方式は全国にも事例があり、なじまないとは考えていません。大規模化はメリット・デメリットがあり、一概に不適切とは考えていません。

【問】 「当面は、旧3町と旧西尾市の学校給食を別々の方式で」としていますが、「当面」という事は、やがて旧西尾市

も給食センターにするということですか。

【答】 センター方式への移行を決定したものではありませんが、今後、公共施設再配置計画の中で、総量圧縮という観点で検討していくこととなります。

大河内博之 議員

防災・減災対策について

【問】 木造住宅等の耐震改修等の申し込み件数を増やす方策はありませんか。

【答】 耐震改修促進のための啓発などは、毎年、いろいろな手法を検討して実施してまいりましたが、改修工事費の自己負担が大きく、なかなか進まないのが現実です。市といたしましては、来年度は補助限度額90万円に30万円を上乗せして120万円の補助を予定しています。また啓発などの手法として、六万石くるりんバスや名鉄のふれんどバスへの広告設置、佐久島や米津の自主防災会との共働による地域ぐるみの耐震ローラー作戦、岡崎市・西尾市・幸田町共同開催の耐震改修無料相談会や市の防災カレッジでの勉強会などを行ってききました。

【問】 簡易改修及び小規模改修の申し込み件数を増やす方策はありませんか。

【答】 市では本来、全ての申し込みを判定値1・0以上とする耐震改修で行っていたと考えていますが、現実的には改修工事費の自己負担が大きく、簡易改修、小規模改修にとどまる方がみえます。このようなケースでは本年度から補助を始めた段階的改修補助、耐震シェルターや耐震ベッドなどの有効性についても一層のPRをしていきます。

【問】 改正災害対策基本法が本年4月から施行され、自治体として避難行動要支援者名簿が義務化されましたが、進捗状況はどのようになっていますか。

【答】 今後は、地域防災計画に定める事項に関して福祉部との協議を重ね、本年10月に地域防災計画の修正を行う予定をしています。また、現行の名簿を避難支援等関係者へ提供できるように、発生時に円滑な名簿提供が行えるよう、対象となる避難行動要支援対象者の把握に努めてまいります。消防機関や地域の支援者等との情報共有によって、実効性のある避難支援がされるよう地域との連携を図ってまいりたいと考えています。

【問】 津波や台風・大雨などの水害発生時に対応するため、水上バイク隊の創設を検討しませんか。

【答】 現在、本署に水難救助時に活動する3人乗りの水上バイク1台、エンジ

ン付きの救助艇を2台、各分署にエンジン付きのゴムボート1台、各出張所にゴムボートを1台配備しております。いつ起こるか分からない自然災害などの発生時には、これらの資機材を有効に活用してまいります。また水上バイク隊の創設は考えておりませんが、機動性があることから、さらなる活用方法も検討してまいります。

神谷 雅章 議員

伝統ある消防団の活性化について

【問】 消防団員の募集をしています。申込状況はどのようですか。新たに加入された女性消防団員は、今後どのような分野で活動しますか。

【答】 現在、旧西尾市から女性1名を含む3名の入団希望があり、女性消防団員は、基本的には、男性と同じ活動を行っています。現在は女性の特性を活かした分野の活動も考えています。

【問】 火災予防の広報・自主防災組織などへの指導・啓発活動等の活動として、女性のみで組織する機能別分団・女性消防団の新設を考えませんか。

【答】 機能別団員・分団などの制度を検討していく必要があると考えます。

**問** 地元企業に働きかけ消防団に協力  
いただける企業に対し「消防団協力事  
業所」として認定を考へませんか。  
**答** 今後視野にいれて検討していきま  
いと考へています。

**問** 災害時に消防団員と協力して、消  
防活動に参加できるOB団員による機  
能別消防団員制度をつくりませんか。  
**答** 機能別消防団員制度の導入は、検  
討時期が来ていると考へています。

**問** 建物火災の際、類焼・延焼予防を  
市民に警告する意味からもサイレン吹  
鳴をしませんか。  
**答** サイレンと放送との相違はありま  
すが、市民への周知は防災行政無線で  
可能であると理解しています。

**問** 消防団支援法が昨年12月に施行さ  
れ、消防団の装備・訓練の充実強化・  
消防団員の処遇改善が求められていま  
すが今後どのような対応をしますか。  
「消防団活性化計画」の策定を検討し  
ませんか。  
**答** 地域の実情を踏まえ取り組んでい  
きます。活性化計画の策定については、  
必要に応じ検討していきます。

**問** 合併前の各消防団の活動を精査し  
自主性を持たせ団員の士気の高揚を図  
りませんか。  
**答** 一つの時代も団長や分団長の考へ  
が反映することができる自主性を持つ

た組織であるべきと考へています。

17万市民の都市「西尾市」  
のまちづくりについて

**問** 駅周辺を都市拠点として環境整備  
する上で駅周辺の市有地利用・市内商  
店街の活性化を、どのように考へてい  
ますか。  
**答** 平成26年度、駅西広場等の有効利  
用の検討・計画の策定を進め、商店街  
活性化のための事業を支援します。

**問** 公共施設再配置で公共施設を1か  
所に統合配置する考へはありませんか。  
**答** 指摘の考へ方を反映しています。  
行政では思いつかないような発想を採  
用することにより、新しいまちづくり  
を実現していきたくと考へます。

**問** 国宝の金蓮寺弥陀堂や県・市指定  
の文化財などの施設や周辺を整備・管  
理をしませんか。  
**答** 所有者や管理団体の意見を聞き、  
今後、担当課と検討していきます。

**問** 鳥羽の火祭りなどの伝統文化行事  
・市内各地のイベントの支援をどのよ  
うに考へていますか。  
**答** 関係課と調整し様々な角度で検討  
していきます。

### 3月定例会で可決された議案



- ☆ 人権擁護委員に、小林紀美子氏及び鳥居善克氏の2人を推薦することに同意しました。
- ☆ 副市長に、小島統市氏を選任することに同意しました。

|  |  |
|--|--|
| ★西尾市総合運動場整備基金に関する条例の制定につ<br>いて   | 西尾市総合運動場整備基金を設置するため、新た<br>に条例を制定するものです。  |
| ★西尾市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制<br>定について                                      | 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推<br>進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成<br>25年法律第44号）が公布されたことに伴い、新た<br>に条例を制定するものです。 |
| ★公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部<br>を改正する条例の制定について                             | 職員を派遣できる団体の名称変更のため、改正す<br>るものです。   |
| ★西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条<br>例の制定について                                   | 社会情勢に即するよう措置する必要があるため、改<br>正するものです。  |
| ★西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条<br>例の制定について                                    | 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部<br>を改正する政令（平成26年政令第17号）が公布さ<br>れたことに伴い、改正するものです。                        |
| ★西尾市税外収入に係る延滞金に関する条例の一部を<br>改正する条例の制定について                              | 延滞金の割合を引き下げるため、改正するもので<br>す。   |
| ★西尾市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙<br>区に関する条例の一部を改正する条例の制定について                   | 西尾市農業委員会の選挙による委員の定数等を<br>変更するため、改正するものです。  |
| ★西尾市障害者総合支援条例及び西尾市特別職の職員<br>で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の<br>一部を改正する条例の制定について | 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害<br>保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関<br>する法律（平成24年法律第51号）が公布されたこ<br>とに伴い、改正するものです。 |

|  |   |
|--|---|
| ★西尾市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について                  | 資源物の持ち去り行為に対する罰則等の規定を設けるため、改正するものです。  |
| ★西尾市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について                             | 道路法施行令及び道路整備特別措置法施行令の一部を改正する政令（平成24年政令第294号）が施行されたことに伴い、改正するものです。   |
| ★西尾市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について                   | 西尾市営治明住宅等の用途廃止をするため、改正するものです。   |
| ★西尾市社会教育委員設置条例及び西尾市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定について           | 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成25年法律第44号）が公布されたことに伴い、改正するものです。  |
| ★西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について                              | 消防法施行令の一部を改正する政令（平成25年政令第88号）が公布されたことに伴い、改正するものです。  |
| ★災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 大規模災害からの復興に関する法律（平成25年法律第55号）が施行されたことに伴い、改正するものです。  |
| ★市道路線の廃止について   | ほ場整備事業により市道として存置する必要がなくなったため廃止するものです。（道路法第10条第3項）   |
| ★平成25年度3月補正予算  | 一般会計補正予算（第5号）・公共下水道事業特別会計補正予算（第3号・第4号）・農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）・介護保険特別会計補正予算（第3号）・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）・病院事業会計補正予算（第2号）・水道事業会計補正予算（第3号） |
| ★平成26年度当初予算  | 一般会計予算・国民健康保険特別会計予算・公共下水道事業特別会計予算・農業集落排水事業特別会計予算・介護保険特別会計予算・後期高齢者医療特別会計予算・佐久島診療所事業特別会計予算・病院事業会計予算・水道事業会計予算・渡船事業会計予算                 |

### ■ 3月定例会に出された請願書

|                               |                       |                |    |
|-------------------------------|-----------------------|----------------|----|
| ★西尾市議会議場に国旗・市旗を掲揚することについての請願書 | 西尾市小焼野町南川38番地<br>伊藤勝彦 | （紹介議員）<br>神谷庄二 | 採択 |
|-------------------------------|-----------------------|----------------|----|

### ■ 4月臨時会で可決された議案

|                                |                                      |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| ★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 地方税法の一部を改正する法律が公布されたこと等に伴い、改正するものです。 |
|--------------------------------|--------------------------------------|

編  
集  
室

市議会議員となって、初めての議会に市政を担う重責を感じ、必死で努力を重ねてきました。

議会だよりの編集委員としても、どんな紙面にしたら、もっと議会を知ってもらえるか、この一年、意見を交わしてきました。見やすい、興味を引く紙面の第一歩として、最初のページに、定例議会の写真を載せてみました。いかがでしょうか。

まだまだ、改革には時間がかかり志半ばで編集委員の任期を迎えたことが心残りですが、メンバーは代わっても、市民の皆様親しんでいただけの議会だよりを発行していく姿勢は同じだと思えます。今後の紙面を楽しみにしてください。

最後に、編集委員会で心をひとつに一丸となつて取り組むことができましたこと嬉しく思います。ありがとうございました。

**議会だより編集委員**

◎ 稲垣 正明 ○ 前田 修  
 中村 健 松崎 隆治  
 山田 高生 大塚久美子  
 本郷 照代 永山 英人

西尾市議会議会だより編集委員会

FAX 54-0311  
 電話 65-2182

■ホームページ(<http://www.city.nishio.aichi.jp/>)で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。